



平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 23 日

上場会社名 日本農産工業株式会社 上場取引所 東証一部・大証一部
 コード番号 2051 URL <http://www.nosan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀尾 守
 問合せ先責任者 (役職名) 業務推進部長 (氏名) 山根 恭一 TEL (045)224 - 3703

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	34,945	(20.8)	1,191	(18.2)	1,256	(22.9)	790	(34.8)
19年3月期第1四半期	28,927	(2.7)	1,007	(10.4)	1,022	(24.1)	586	(29.6)
19年3月期	122,226		2,790		2,838		1,602	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	6	51	6	51
19年3月期第1四半期	4	76	4	76
19年3月期	13	14	13	11

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第1四半期	66,244		22,172		33.5	182	44	
19年3月期第1四半期	57,760		21,660		37.5	175	71	
19年3月期	63,398		22,072		34.8	181	79	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第1四半期	2,058		18		1,998		486	
19年3月期第1四半期	167		390		741		569	
19年3月期	2,504		1,526		835		528	

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

業績予想の変更はありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

業績予想につきましては、発表日現在におきまして入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当連結第 1 四半期におけるわが国経済は、設備投資の拡大や雇用改善が着実に進むなど、景気は引き続き緩やかな回復基調で推移しました。

飼料・畜産業界においては、畜産飼料の全国流通量はほぼ前年並みで推移しています。また畜産物相場は、鶏卵・牛肉相場が前年同期を下回りましたが、豚肉相場はほぼ前年並み、プロイラー相場は高値で推移しました。

このような状況のもと当社グループは、より安全で安心な商品をお客様にお届けするため、品質管理体制を更に充実させ、品質にフォーカスした活動を進めております。

以上の結果、当連結第 1 四半期の売上高は 349 億円（前年同四半期比 121%）、営業利益は 11 億 91 百万円（前年同四半期比 118%）、経常利益は 12 億 56 百万円（前年同四半期比 123%）、四半期純利益は 7 億 90 百万円（前年同四半期比 135%）となりました。

事業別の状況は、以下の通りです。

【飼料事業】

畜産飼料は、販売数量は微減となりましたが、販売価格が前年同期を上回る水準で推移したため売上高は増加し、原料価格の高騰や配合飼料価格安定基金積立金の積み増しによるコスト負担増を吸収し、前年同期を上回る利益を計上しました。

水産飼料においても、マダイ用・ブリ用飼料等の伸長により、販売数量・利益とも前年同期を上回りました。

以上の結果、営業利益は 11 億 42 百万円となり、前年同四半期に比べ 1 億 62 百万円増益となりました。

【食品事業】

「ヨード卵・光」は、前期に引続き業務用の販売数量が伸長し、当四半期においても順調に推移したため、家庭用を含め販売数量は前年同期を上回りました。

一方、鶏卵子会社の利益は、鶏卵相場が前年に比べ安値で推移したこと及び競争激化等により、前年同期に比べ厳しい結果となりました。

以上の結果、営業利益は 2 億 54 百万円となり、前年同四半期に比べ 37 百万円減益となりました。

【ライフテック事業】

バイオ新分野は、ADME/Tox（薬物動態及び毒性試験）分野が前期に引き続き好調に推移しています。ペットフードは、療法食を含む動物病院向けが、前年同期比 103%と順調に推移し、子会社ペットラインでは一般向け猫用フードを中心に好調で、販売数量を伸ばしています。

この結果、営業利益は 1 億 83 百万円となり、前年同四半期に比べ 77 百万円増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は平成 19 年 3 月末と比較して 2,846 百万円増加し、純資産が 99 百万円増加した結果、自己資本比率は 33.5%となりました。

増減の主なものは、資産では受取手形及び売掛金が 1,957 百万円増加し、短期貸付金が 484 百万円減少しました。負債では、短期借入金が 3,011 百万円増加しました。

(連結キャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前第 1 四半期純利益 1,343 百万円、減価償却費 530 百万円等があったものの、売上債権の増加 1,961 百万円、法人税等の支払 666 百万円等があったため、2,058 百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出 178 百万円があったものの、貸付金の減少 227 百万円等により 18 百万円の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払 509 百万円があったものの、借入金の増加 2,549 百万円等により、1,998 百万円の増加となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当連結第 1 四半期末残高は 486 百万円となり、前期末に比べ 41 百万円の減少となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当四半期の業績につきましては、予想通りに推移しております。

中間期・通期の業績予想については、本日付(平成 19 年 7 月 23 日)で開示の「投資有価証券売却益の発生に関するお知らせ」の通り、現時点では平成 19 年 4 月 27 日に公表した業績予想の変更はありません。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・法人税等の処理・・・法定実効税率をベースとした簡便な方法によっています。
- ・その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いています。

(2) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

連結子会社の事業の見直しを行なった結果、日本エンテム建設(株)については、従来「その他事業」に含めていましたが、飼料事業に関連する建築請負等が主要な事業となっているため、当期より「飼料事業」に含めています。

これに伴い、その他事業は重要性が乏しくなった為、消去又は全社に含めて表示しています。

四半期連結(要約)貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減	(参考)前期末 (平成19年3月期末)
(資産の部)				
流動資産				
1 現金及び預金	569	486	82	528
2 受取手形及び売掛金	18,645	26,095	7,449	24,137
3 たな卸資産	6,748	7,807	1,059	7,194
4 その他	3,700	4,343	642	4,226
貸倒引当金	169	160	8	227
流動資産合計	29,494	38,572	9,077	35,859
固定資産				
1 有形固定資産				
(1) 建物及び構築物	8,301	7,787	513	7,896
(2) 機械装置及び運搬具	5,873	5,257	616	5,519
(3) 土地	3,893	3,843	49	3,845
(4) その他	637	509	127	526
有形固定資産合計	18,705	17,398	1,306	17,788
2 無形固定資産	685	615	69	656
3 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	7,291	7,588	297	7,382
(2) その他	1,908	2,512	604	2,158
貸倒引当金	196	315	118	318
投資損失引当金	128	128	-	128
投資その他の資産合計	8,875	9,657	782	9,094
固定資産合計	28,265	27,672	593	27,538
資産合計	57,760	66,244	8,483	63,398

(単位:百万円)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減	(参考)前期末 (平成19年3月期末)
(負債の部)				
流動負債				
1 支払手形及び買掛金	13,727	19,250	5,523	18,981
2 短期借入金	10,277	12,223	1,946	9,212
3 その他	4,947	5,383	436	5,497
流動負債合計	28,951	36,858	7,906	33,690
固定負債				
1 長期借入金	5,613	5,707	94	6,169
2 退職給付引当金	521	302	218	337
3 その他	1,013	1,202	189	1,127
固定負債合計	7,148	7,213	65	7,634
負債合計	36,100	44,071	7,971	41,325
(純資産の部)				
株主資本				
1 資本金	7,411	7,411	-	7,411
2 資本剰余金	2,765	2,766	1	2,766
3 利益剰余金	11,163	12,180	1,017	12,179
4 自己株式	1,046	1,670	623	1,693
株主資本合計	20,293	20,688	395	20,663
評価・換算差額等				
1 その他有価証券評価差額金	1,367	1,481	114	1,407
評価・換算差額等合計	1,367	1,481	114	1,407
新株予約権	-	2	2	1
少数株主持分	-	-	-	-
純資産合計	21,660	22,172	512	22,072
負債、純資産合計	57,760	66,244	8,483	63,398

四半期連結(要約)損益計算書

(単位:百万円)

摘 要	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増 減	(参考)前期 平成19年3月期
売上高	28,927	34,945	6,017	122,226
売上原価	24,701	30,207	5,505	105,648
(売上総利益)	(4,225)	(4,737)	(511)	(16,578)
販売費及び一般管理費	3,218	3,546	328	13,787
営業利益	1,007	1,191	183	2,790
営業外収益	157	191	33	506
受取利息及び配当金	49	53	4	97
その他の	107	137	29	408
営業外費用	142	125	16	458
支払利息	43	63	20	223
その他の	98	62	36	235
経常利益	1,022	1,256	233	2,838
特別利益	0	96	96	429
固定資産売却益	0	8	7	105
その他の	-	88	88	324
特別損失	16	9	6	417
固定資産売却損	16	9	6	93
その他の	-	-	-	323
税金等調整前第1四半期(当期)純利益	1,006	1,343	336	2,851
法人税、住民税及び事業税	413	546	133	1,228
少数株主利益	5	5	0	20
第1四半期(当期)純利益	586	790	204	1,602

(注) 第1四半期における税金費用については、簡便法により計算しているため、「法人税等調整額」は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

四半期連結（要約）株主資本等変動計算書

当第 1 四半期連結会計期間（自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

	株 主 資 本					評価・換算差額等		新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計		
平成 19 年 3 月 31 日 残高	7,411	2,766	12,179	1,693	20,663	1,407	1,407	1	22,072
四半期連結会計期間中の 変動額									
剰余金の配当			789		789				789
四半期純利益			790		790				790
自己株式の取得				0	0				0
自己株式の処分		0		23	23				23
株主資本以外の項目の 四半期連結会計期間中 の変動額合計（純額）						74	74	1	75
四半期連結会計期間中の 変動額合計	-	0	1	22	24	74	74	1	99
平成 19 年 6 月 30 日 残高	7,411	2,766	12,180	1,670	20,688	1,481	1,481	2	22,172

四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

項 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考)前期 平成19年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前第1四半期(当期)純利益	1,006	1,343	2,851
2. 税引前利益の調整			
減価償却費	534	530	2,209
引当金の増減()額	60	105	611
その他の増減()額	114	130	422
3. 資産及び負債の増減			
売上債権の増()減額	962	1,961	4,701
棚卸資産の増()減額	1,002	627	1,449
その他の流動資産の増()減額	225	694	902
仕入債務の増減()額	163	271	5,416
その他の流動負債の増減()額	338	16	590
4. 法人税等の支払額	1,091	666	1,321
合 計	167	2,058	2,504
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 固定資産の取得による支出	498	178	1,658
2. 固定資産の売却による収入	5	13	218
3. 投資有価証券等の増()減	1	33	0
4. 貸付金の増()減	104	227	111
5. その他投資等の増()減	3	78	197
合 計	390	18	1,526
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金の増減()額	890	3,140	130
2. 長期借入金による収入	1,000	-	3,375
3. 長期借入金の返済による支出	556	590	2,419
4. 配当金の支払額	552	509	801
5. 自己株式の取得による支出	0	0	677
6. 自己株式の処分による収入	8	23	40
7. その他の増減()額	47	63	223
合 計	741	1,998	835
現金及び現金同等物の増減額	184	41	143
現金及び現金同等物の期首残高	384	528	384
現金及び現金同等物の第1四半期(期末)残高	569	486	528

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

(単位：百万円)

摘 要	前 年 同 四 半 期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)						消去又は 全社	連 結
	飼料 事業	食品 事業	ライフテック 事業	その 他 事業	計			
売 上 高	22,793	3,835	2,903		91	29,623	(696)	28,927
管 業 費 用	21,812	3,543	2,798		108	28,263	(343)	27,919
営業利益又は営業損失()	980	292	105		17	1,360	(353)	1,007

(単位：百万円)

摘 要	当 四 半 期 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)						消去又は 全社	連 結
	飼料 事業	食品 事業	ライフテック 事業	計				
売 上 高	28,777	3,784	3,285			35,847	(902)	34,945
管 業 費 用	27,634	3,529	3,102			34,266	(512)	33,754
管 業 利 益	1,142	254	183			1,580	(389)	1,191

(単位：百万円)

摘 要	(参 考) 前 期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)						消去又は 全社	連 結
	飼料 事業	食品 事業	ライフテック 事業	計				
売 上 高	97,039	14,786	12,436		1,106	125,368	(3,141)	122,226
管 業 費 用	94,387	13,877	11,850		1,083	121,199	(1,763)	119,435
管 業 利 益	2,652	908	585		23	4,169	(1,378)	2,790

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質及び市場の類似性を考慮して区分しています。

2. 各事業の主な製品及び事業内容

(当四半期)

- (1)飼料事業・・・鶏用飼料、豚用飼料、牛用飼料及び魚用飼料
- (2)食品事業・・・ヨード卵、ヨード卵関連商品、鶏卵
- (3)ライフテック事業・・・ペットフード、馬用飼料、実験動物及び実験動物用飼料、バイオ関連商品

(前年同四半期、前期)

- (1)飼料事業・・・鶏用飼料、豚用飼料、牛用飼料及び魚用飼料
- (2)食品事業・・・ヨード卵、ヨード卵関連商品、鶏卵
- (3)ライフテック事業・・・ペットフード、馬用飼料、実験動物及び実験動物用飼料、バイオ関連商品
- (4)その他事業・・・建築請負

3. 子会社事業のセグメント区分の変更

連結子会社の事業の見直しを行なった結果、日本エンテム建設(株)については、従来「その他事業」に含めていましたが、飼料事業に関連する建築請負等が主要な事業となっているため、当期より「飼料事業」に含めています。

これに伴い、その他事業は重要性が乏しくなった為、消去又は全社に含めて表示しています。

2. 所在地別セグメント情報

本国以外での売上高及び営業損益はありません。

3. 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しました。